

はじまりのはなし

— 佐野美術館の名刀コレクションを中心に —

Japanese sword collection : The beginning of the Sano Art Museum

展覧会名： はじまりのはなし —佐野美術館の名刀コレクションを中心に—
会 期： 2020年10月31日[土]～12月20日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日
入 館 料： 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円
* 毎週土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会
後 援： 静岡県教育委員会
助 成： 三島信用金庫
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社

展覧会の趣旨

佐野美術館は2020年10月31日[土]～12月20日[日]まで、当館の創立者であり、化学工業の分野で近代日本の発展に貢献した実業家・佐野隆一(1889-1977)の築いたコレクションを中心に紹介する展覧会を開催します。

1966年に創立し、来年55年目を迎える佐野美術館のコレクションより刀剣・絵画・書跡・彫刻・陶磁器など約60件をお楽しみください。

展覧会のみどころ

佐野隆一の美術品収集のきっかけは、徳川将軍家の刀剣を入手したことでした。

本展は、疱瘡快癒の祝儀とされた刀 無銘 正宗、輿入れの引き出物として贈られた名物松井江、金象嵌銘が施された名物 大兼光といった徳川将軍家伝来の名刀をはじめ、その後日本刀の全体像を理解しようと系統立てて収集された刀剣をご覧ください。また、近年寄贈・寄託を受けて佐野美術館のおなじみとなった刀剣、火車切や蜻蛉切も紹介します。

あわせて、足利尊氏願経、細川幽斎ら古今の名筆を集めたと伝わる古新一覧手鑑、「駿河には過ぎたるものが二つあり、富士のお山に原の白隠」と称えられた静岡ゆかりの禅僧・白隠慧鶴の書画、自らを画狂人と号した葛飾北斎が最晩年に描いた肉筆画・着衣鬼図など、ぜひ多くのみなさまにご覧いただきたい当館コレクションの数々を展示します。

展覧会の主なイベント

◆近くで見よう、日本刀と刀装具 11月21日(土) 14:00～15:30

※当初予定していた「京都国立博物館の名刀」展は、新型コロナウイルス感染症の影響により本年度の開催を中止しました。
今後の状況により、展覧会や関連イベントの内容を変更する場合があります。

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～8の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1. 重要文化財 刀 金象嵌銘 備前国兼光／本阿弥(花押)〈名物 大兼光〉 南北朝時代(14世紀)
2. 重要文化財 刀 朱銘 義弘／本阿(花押)〈名物 松井江〉 鎌倉時代(14世紀)
3. 重要文化財 刀 無銘 正宗 鎌倉時代(14世紀)
4. 重要美術品 脇指 銘 相模国住人広光／康安二年十月日(号 火車切) 南北朝時代(1362)
5. 重要文化財 大日如来坐像 平安時代(12世紀)
6. 蓮池観音図 白隠慧鶴 明和4年(1767)
7. 着衣鬼図 葛飾北斎 嘉永元年(1848)
8. 鐔 皆山応起(朱漆小刻鞆打刀拵に付属) 江戸時代(19世紀) 掲載作品はすべて佐野美術館蔵

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp